

第 28 回日本ハンドセラピィ学会学術集会 プログラム
2016 年 4 月 23 日 (土)

特別講演 I 9:50~10:50 メインホール

座長：蓬萊谷 耕士 (北摂総合病院)

「EBM に基づいた橈骨遠位端骨折および合併症の治療」

市立奈良病院 四肢外傷センター 矢島 弘嗣 先生

シンポジウム I : EBM の構築に向けて 11:00~12:30 メインホール

座長：大山 峰生 (新潟医療福祉大学)

提言 EBHT の必要性和課題

新潟医療福祉大学 大山 峰生

S1 手指屈筋腱断裂修復後の早期運動療法のエビデンスと今後の課題

新潟手の外科研究所 松澤 翔太

S2 橈骨遠位端骨折における掌側ロッキングプレート固定術後ハンドセラピィパスの有用性について

名古屋掖済会病院 桂 理

S3 手指 PIP 関節内骨折におけるハンドセラピィ

-DIP 関節, PIP 関節可動域の推移からみた DIP 関節運動の有用性について-

中日病院 茶木 正樹

S4 絞扼性神経障害のハンドセラピィ -手根管症候群・肘部管症候群-

東京手の外科・スポーツ医学研究所 阿部 幸一郎

S5 関節リウマチにおける MP 人工指関節置換術の後療法のエビデンス

-軟部組織再建術も含めて-

甲南加古川病院 松尾 絹絵

特別講演 II 13:30~14:30 メインホール

座長：西出 義明 (もり整形外科・リウマチ科クリニック)

「ハンドセラピストに望むこと—手外科医の立場から—」

大阪医科大学名誉教授

城山病院上肢機能再建研究所所長

一般社団法人日本ハンドセラピィ学会顧問 阿部 宗昭 先生

一般演題（口述）Ⅰ 橈骨遠位端骨折 14:40～15:40 メインホール

座長：井部 光滋（札幌徳洲会病院）

- Ⅰ-1 橈骨遠位端骨折患者への視覚的フィードバックを用いた Dart-throwing motion の効果 -手関節運動軌跡解析および患者立脚型評価 Hand20 からの考察-
山形済生病院リハビリテーション部 大瀧 亮二
- Ⅰ-2 橈骨遠位端骨折手術例におけるセラピー終了時期に影響を及ぼす要因について
名古屋掖済会病院リハビリテーション科 稲垣 慶之
- Ⅰ-3 橈骨遠位端骨折術後の経過中に認める前腕回外可動域制限の検討
中日病院名古屋手外科センターハンドセラピー部門 渡辺 康太
- Ⅰ-4 当院における橈骨遠位端骨折掌側プレート固定症例に対する術後プロトコルの検討-年齢と骨折型に着目した後方視調査-
東京慈恵会医科大学附属病院リハビリテーション科 田口 健介
- Ⅰ-5 橈骨遠位端骨折術後の握力についてのプロトコール
公立南丹病院リハビリテーション科 恩村 直人
- Ⅰ-6 橈骨遠位端骨折における術後成績と術前抑うつとの関連
相澤病院リハセラピスト部門運動器リハセンター 櫻井 利康

一般演題（口述）Ⅱ スプリント 15:50～16:50 メインホール

座長：原田 康江（聖隷浜松病院）

- Ⅱ-7 母指CM 関節症におけるスプリント装着3か月後の変化について
-スプリント非装着での評価結果の比較-
にしかわ整形外科・手の外科クリニック 及川 友和
- Ⅱ-8 母指基部痛に対するスプリントの鎮痛効果とピンチ力改善メカニズム
高知大学医学部附属病院リハビリテーション部 大石 大
- Ⅱ-9 母指CM 関節症に対するスプリント療法による治療成績
丸の内病院リハビリテーション部 田口 真哉
- Ⅱ-10 当院におけるTFCC 損傷に対するスプリント療法
JCHO 東京高輪病院リハビリテーション室 成田 大地
- Ⅱ-11 TFCC 損傷に対するカフ型スプリントの効果 -スプリント効果の予備研究-
弘前大学医学部附属病院リハビリテーション部 西村 信哉
- Ⅱ-12 手根管症候群に対するスプリント療法（第4報）-適応と限界-
いまむら整形外科医院 堀 泰輔

一般演題（ポスター）Ⅰ スプリント・腱損傷 14:40～15:40 多目的スタジオ

座長：山田 玄太（愛野記念病院）

- P-I-1 Galeazzi 骨折後回内制限に対して前腕回旋装具を用いた一考察
主体会病院総合リハビリテーションセンター 位田 貴俊
- P-I-2 橈骨遠位端骨折後のDRUJ不安定症に対するスプリント療法
-スプリント装着により仕事復帰を果たした2例-
国民健康保険能美市立病院リハビリテーション科 山田とみみ
- P-I-3 母指CM関節症に対する当院で考案した8の字型軟性装具の治療経験
太田総合病院リハビリテーション室 小山田 剛
- P-I-4 高度PIP関節屈曲拘縮に対するSafety pin splintの有用性の検討
香川大学医学部附属病院リハビリテーション部 仁木 隆之
- P-I-5 伸筋腱移行術後例に対する早期自動伸展・屈曲運動
金沢大学附属病院リハビリテーション部 堀江 翔
- P-I-6 腱性マレット指のハンドセラピーについて
南川整形外科 井上 直子
- P-I-7 移植腱の編み込み縫合部における成熟過程の変化
富山大学附属病院リハビリテーション部 横山 哲之

一般演題（ポスター）Ⅱ 手関節・前腕 14:40～15:40 多目的スタジオ

座長：堀 泰輔（いまむら整形外科医院）

- P-II-8 橈骨遠位端骨折プレート固定術後例に対する新たなX線評価の妥当性
-CT評価との比較検討-
川崎病院手外科センター 武田 実
- P-II-9 手関節の柔軟性と橈骨遠位端骨折後の可動域の関連性について
佐野記念病院リハビリテーション科 小出 真也
- P-II-10 橈骨遠位端骨折掌側ロッキングプレート術後患者の母指機能についての調査
浜脇整形外科リハビリセンターリハビリ科 藤村 裕介
- P-II-11 三角線維軟骨複合体（TFCC）合併損傷に対する鏡視下手術の中期成績
山口県済生会下関総合病院リハビリテーション科 梶田 芳徳
- P-II-12 手関節および手指の他動屈曲が短橈側手根伸筋腱起始部に与える伸張効果
-ストレッチング運動を想定した未固定遺体標本の定量的分析-
札幌医科大学大学院医学研究科 白戸 力弥

P-II-13 大きな骨欠損と変形を伴った舟状骨偽関節に対して血管柄付き骨移植術を行った術後セラピーの経験

市立奈良病院リハビリテーション室 雲丹亀直希

P-II-14 右手関節再接着後の作業療法の小経験

聖マリア病院リハビリテーション室 高島 広

一般演題（ポスター）Ⅲ 末梢神経障害/その他 15:50～16:50 多目的スタジオ

座長：梶田 芳徳（山口県済生会下関総合病院）

P-Ⅲ-15 手根管症候群に対する横手根靭帯ストレッチングの反応による保存療法の選択と効果

北海道文教大学人間科学部作業療法学科 金子 翔拓

P-Ⅲ-16 尺骨神経麻痺における示指外転・母指内転再建後の後療法について
-Neviasser 法と Littler 法に関して-

獨協医科大学越谷病院リハビリテーションセンター 秋山 洋輔

P-Ⅲ-17 肩甲上・腋窩神経損傷における多チャンネル表面筋電図の有用性

獨協医科大学越谷病院リハビリテーションセンター 高橋 里奈

P-Ⅲ-18 筋皮神経再建術を施行された腕神経叢損傷患者 1 例に対する介入の経験

京都大学医学部附属病院リハビリテーション部 山脇 理恵

P-Ⅲ-19 一次性変形性肘関節症に対する授動術後の後療法について

慶友整形外科病院リハビリテーション科 坂井 力

P-Ⅲ-20 当院における母指 CM 関節固定術後のリハビリテーション

小郡第一総合病院リハビリテーション科 磯村 佑哉

P-Ⅲ-21 関節リウマチ症例における疾患活動性と巧緻性の関係

JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院作業療法科 二之宮篤子

一般演題（ポスター）Ⅳ 症例報告 15:50～16:50 多目的スタジオ

座長：石井 誠二（総合病院回生病院）

P-Ⅳ-22 音楽家の手の障害 フォーカル・ジストニアに対する作業療法の試み

JA 長野厚生連長野松代総合病院リハビリテーション部 小淵 浩平

P-Ⅳ-23 肩甲帯動脈静脈奇形例に対する肩関節機能再建術後セラピーについて

防衛医科大学校病院リハビリテーション部 三澤 里織

P-Ⅳ-24 DIP 関節に対して複数指の人工関節置換術を行った症例に対する術後セラピーの報告

櫛田学整形外科クリニック 栗木 康介

- P-IV-25 右前腕フォルクマン拘縮発症後に高度の機能不全を呈した 1 例
今給黎総合病院リハビリテーション部 鶴田 和也
- P-IV-26 マムシ咬傷症例のセラピィの経験
兵庫医療大学リハビリテーション学部 櫛邊 勇
- P-IV-27 手指屈筋腱 bowstring に対し Pulley 再建術を行った症例の治療経験
木村整形外科医院 壇 万紀也
- P-IV-28 屈筋腱化膿性腱鞘炎後屈筋腱癒着し 2 回の腱剥離術を施行した一例
-内在筋優位肢位に対する splint 療法-
医療法人社団楓会林病院リハビリテーション部 深江亜希子

2016 年 4 月 24 日 (日)

Meet the Experience ～海外体験報告～ 9:20～10:10 メインホール
座長：越後 歩（札幌徳洲会病院）

- ME1 アメリカでの研究留学経験
札幌医科大学 千見寺貴子
- ME2 Cleveland Clinic における研修報告 -米国のハンドセラピィを経験して-
東京慈恵会医科大学附属病院 田口 健介
- ME3 ハンドセラピィの国際化に伴う日本の課題
金沢大学 西村 誠次

シンポジウムⅡ：難渋例に対するセラピストの使命 10:20～11:20 メインホール
座長：阿部 薫（慶應義塾大学病院）

- S6 CRPS 難渋例に対するセラピストの使命
聖マリアンナ医科大学病院 大森 みかよ
- S7 全指切断に対する手関節駆動式義手導入例から考えるセラピストの役割
飯田市立病院 古田 裕之
- S8 両上肢重度挫滅損傷を呈した症例にハンドセラピィを実施して
-useful hand 獲得の可能性を症例から学ぶ-
湘南鎌倉総合病院 馬場 有香
- S9 両上肢複合組織損傷に対するセラピィの経験
吉村整形外科医院 中山 幸保

一般演題（口述）Ⅲ 腱損傷 11:30～12:30 メインホール

座長：野中 信宏（愛野記念病院）

- Ⅲ-13 ZONE I 屈筋腱修復後の改良型背側スプリントを用いた早期自動運動療法
獨協医科大学越谷病院リハビリテーションセンター 秋山 洋輔
- Ⅲ-14 手指伸筋腱皮下断裂術後の長期成績に影響を及ぼす因子の検討
安城更生病院リハビリテーションセンター 谷口しのぶ
- Ⅲ-15 バディーテーピングを用いて早期運動療法を施行した外傷性指伸筋腱断裂の2症例
東京手の外科・スポーツ医学研究所 向井 文哉
- Ⅲ-16 木森法を参考にした母指対立再建術後の早期運動療法とその治療成績
愛野記念病院手外科センター 油井 栄樹
- Ⅲ-17 手指伸筋腱脱臼の保存療法
地方独立行政法人徳島県鳴門病院リハビリテーション部 里浦 雅也
- Ⅲ-18 当院におけるハネ指手術例の調査
にしかわ整形外科・手の外科クリニック 及川 友和

一般演題（口述）Ⅳ 末梢神経障害・評価 12:40～13:40 メインホール

座長：飯塚 照史（星城大学）

- Ⅳ-19 肘部管症候群患者における主観的巧緻運動障害の術後回復傾向
-線形混合効果モデルを使用して-
信州大学医学部附属病院リハビリテーション部 井戸 芳和
- Ⅳ-20 手根管開放術後における nerve gliding exercise の有効性について-第1報-
社会医療法人躰生会脳神経外科病院リハビリテーション科 小寺 秀和
- Ⅳ-21 手根管症候群のローゼンスコアの有用性と各種検査の関連について
神戸労災病院中央リハビリテーション部 池本 和子
- Ⅳ-22 手根管症候群の評価方法の検討 -ローゼンスコアを用いて-
北アルプス医療センターあづみ病院リハビリテーション科 村井 貴
- Ⅳ-23 手外科疾患におけるADL評価表の開発
-食事評価試案の順序尺度の妥当性の検証について-
日本ハンドセラピー学会機能評価委員会ADL評価班 越後 歩
- Ⅳ-24 上肢運動器疾患における主観的健康統制感の経時的変化について
弘前医療福祉大学医療技術学科作業療法学専攻 千葉さおり

座長：茶木 正樹（中日病院）

Le1 腱性マレット指に対する2段階スプリント療法

澁野辺総合病院 斎藤 和夫

Le2 PIP 関節伸展障害に対するカペナスプリント

鈴鹿回生病院 佐藤 明俊

Le3 解剖学的形態および生体力学からみた上腕骨外側上顆炎に対するストレッチング法

北海道文教大学・札幌医科大学大学院 白戸 力弥